

シソで実粟PR

「しそ」のシソで実粟市をPRしようと、市内の九つの和洋菓子店が、シソを使ったケーキやまんじゅうなど14種類のスイーツを開発した。各店で4日から9月未まで限定販売する。企画した市商工会女性部は「お盆の帰省客の土産として、全国に実粟の名が広がってほしい」と期待している。

(古根川淳也)

市内9店 夏のスイーツ14種開発

難読地名で知られる 品開発委員長の居垣明 各店の商品や場所な「実粟」を覚えてもら 美さん(68)は「みんな などを紹介するパンフレ おうと、語呂合わせ の協力で3年越しの夢 ットも5千部作成。市 でシソに着目。同女性 が実現した。若い女性 役所などで配布するほ 部メンバーの畑でシ が実粟に来てスイーツ か、市商工会のホーム ソを栽培するなどし、 を食べ歩き、町がにぎ ページにも掲載してい 2014年度から事 わってほしい」と話し 業に取り組んできた。 る。市商工会 ☎079

0・62・2365

あすから限定販売

実粟のシソを使ったスイーツを試食する市商工会女性部のメンバーら＝実粟市山崎町山崎

菓子はいずれもシソの香りが生かされ、夏向きのさわやかな味になっている。このほど商工会で開かれた試食会では、女性部員らが「おいしそう」と歓声を上げ、全品の味や見た目などをチェックした。

女性部長の宗接房子さん(64)と、同部特産



神戸新聞

2016年 8月3日